

総論

満点	200点	目標得点	150点	試験時間	90分	偏差値	A:70 B:72
大問数	8	小問数	55				
【解答形式】		選択式	43/55問	記述式	12/55問	論述式	0/55問
【問題難易度】		C	6/55問	B	33/55問	A	16/55問
※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：大問数は8問で、昨年と変わらず。文法で共通語補充が出題されなくなり、派生語・動詞の変化形を問う問題がそれに変わる。
- 2：長文は依然として、経営、経済にかかわる文章が出題され、時事英語に強いことが要求されている。
- 3：全55問中、長文空所補充を含め、いわゆる文法問題が33問出題されている。早慶のあらゆる学部のうちもっとも文法問題に比重の高い学部といえる。

こんな力が求められる！

慶應-商の英語では3つの力が必要とされている。

①語彙

今年も asset(資産)、innovation(革新)、logistics(物資輸送)、invest(投資する)などの経済・経営用語が長文の中で、普通に使われている。また、implement(方針などを実施する)なども注釈なしで出てくるなど、高度な語彙力が要求されている。

このため慶應-商を受けようと考えている諸君は夏休み終わりまでに『でか単』PART3までを完璧にして、秋以後、文章中に出てくる単語をさらに覚えてゆくことが必要だろう。今年見事合格した先輩たちもみんなこのスケジュールで単語の勉強をしてきた人ばかりである。

②経営関係の話に慣れる

たとえば「フラットな経営」という言葉を見て、どのようなことを想像するだろうか。また「日本型経営」という言葉で具体的なイメージがわくだろうか。このような経営に関する用語に慣れておくことは長文の内容をより早く理解するために必要である。大問Ⅰの出典が *Harvard Business Review* で、この雑誌の翻訳は日本でも出ているのでたまに買って読むのもよい。ただ、高校生が経営の本を読むというのはなかなか時間がないと思われるので、経済産業省のホームページ (<http://www.meti.go.jp/>) に行き、「政策分野別キーワード」のうち興味ある用語をクリックして知識を広めておくことなどが薦められる。いずれにせよ、商学部というのは「経営マインド」をもつ人材を育成する学部なので、このような勉強は将来にも生きるだろう。

③動詞の形態に重点を置いた文法学習

空所補充の文法問題である大問Ⅵの8問中、実に6問が動詞の語義、用法を問う問題であり、また大問Ⅷは長文の中に動詞を適当な形に直して入れる問題である。つまり動詞の語義、語法、変化形(特に過去分詞)に注目しながら英語学習を進めよというメッセージをこの学部は発しているわけである。

『でか単』を覚えるときに動詞は例文まで見て用法を確認し、また、OS早慶英語・OS慶應英語の諸君は Work Sheet の動詞の部分をしつこく復習しよう。また、夏期講習、冬期講習で動詞の用法・語法を演習するのでそちらの復習も繰り返し行おう。

### 【I】

<b>予想配点</b>	32/200 点	<b>時間配分の目安</b>	18/90 分
<b>出題内容</b>	長文問題 [Word 数] 628 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART3 [長文テーマ] 社員の知的資本をどのように活用し、成功する企業になるか。		
<b>出題形式</b>	同意語句、空欄補充（選択）、内容一致文完成		
<b>小問別難易度</b>	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (1) B (2) A (3) B (4) B (5) B (6) A (7) C (8) B		
<b>お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連</b>	『でか単』の早期完成がこの長文を征服する最大のポイント。夏までに、遅くとも夏休み終了までに『でか単』PART3 まで完成させよう。		

#### ●本大問の特徴・概要

従来の経営はいかに物質的な資源を有効に集め、生産するかが中心であったが、情報を加工し、情報を生産する現代にあっては、いかに従業員の持つ知的資源を引き出し、競争力のある情報に加工するかがポイントであるということ論じた文章。この骨子がきちんと理解できれば、解きやすい問題。

語彙レベルは高く、『でか単』PART3 2118 番の *asset* (資産) が (1) で内容を問われている。

また、後半の問いは *creativity* (創造性) と *perfection* (完璧さ) は必ずしも両立しないというポイントがわかっているれば正しく答えられる。

#### ●注目すべき小問

今年の合格者のできの悪い小問は (1), (2), (5) であった。(1) は *physical asset* という言葉が *intellectual asset* と対比されていることをつかめば簡単に答えは出る。(2) は *anticipate* という動詞の本当の語義を問う問題。この単語はジーニアス英和辞典でひくと「予想する、見越す、予期する」という定義が与えられているので、*expect* との差異はわからないが、*Longman Dictionary of Contemporary English* で引くと *to expect that something will happen and be ready for it* 「何かが起こることを予想し、それに準備をすること」と定義されている。*anticipate* は「予想して、対処する」という意味だということを知っていればみんなできたはずだ。慶應-商は動詞に関してよく出題するので、動詞をひくとき電子辞書についている英英辞典も見る習慣をつけよう。

## 【Ⅱ】

予想配点	28/200 点	時間配分の目安	12/90 分
出題内容	長文問題 [Word 数] 344 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART3 [長文テーマ] アジア諸国の社会福祉による内需拡大の動きについて		
出題形式	同意語句、空欄補充（選択）、内容一致文完成		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (9) A (10) A (11) A (12) B (13) A (14) B (15) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	【Ⅰ】と同じ		

### ●本大問の特徴・概要

アジア各国が社会福祉制度を充実させ、それが safety net（安心を与える保障）となって、みんながお金を使うようになり、経済が発展するというシナリオが本当に有効かどうかを論ずる長文。このシナリオ自体、民主党のマニフェストと似ており、読みやすい人も多かったと思う。日ごろから時事問題に関心を持つことは入試にとっても役立つ。

長文3題出題されている中で、最も選択肢が甘く、正答率が高くなると予想される問題。

### ●注目すべき小問

(12) が合格者でもよく間違っている問題。この問題の問題文は Which of the following points is made in the passage? という問いで、「この文章で以下のどのポイントが論証されていますか」。つまり、make a point 「しっかりと論証する」というイディオムがわからないと解きにくい。慶應の商学部は「本文中で示唆されていないもの」「どれが正しいか」「どれが間違いか」「どれが主たる主張か」など問題が多岐なので、問題文をしっかりと読む習慣を身につけよう。

## 【Ⅲ】

予想配点	28/200 点	時間配分の目安	18/90 分
出題内容	長文問題 [Word 数] 585 words [『でか単』『完熟』レベル] [『でか単』『完熟』ともに PART3 [長文テーマ] 多様性を許容することが組織の成長にとっての鍵		
出題形式	同意語句、空欄補充（選択）、内容一致文完成		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 可否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (16) C (17) B (18) B (19) B (20) C (21) B (22) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	【Ⅰ】と同じ		

### ●本大問の特徴・概要

『でか単』PART1 391 番 diversity（多様性）がテーマとなっている文章。構文が複雑な箇所はなく、読みやすい文章だが、racism（人種差別）、gender discrimination（性差別）などが diversity との対立概念として用いられている。この対立軸は比較的読み取りやすかったようで、設問の難しさにもかかわらず、合格者は長文3題のうち、この大問が一番正答率が高かった。

### ●注目すべき小問

(16) の endorse (= support) は合格者全員ができなかった問題。これは『でか単』にも収録されていない難語で、難語が問いになっている場合はあせらず、みんなできないと割り切ることが重要。また、(20) は設問が「以下のどれが…の理由ではないでしょうか」というややこしい問いなので、できない人が多い問題。その他は全問正解といきたいところ。

## 【Ⅳ】

予想配点	24/200 点	時間配分の目安	10/90 分
出題内容	長文空所補充問題 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』ともに PART3 〔長文テーマ〕地球温暖化と安全保障		
出題形式	選択空所補充		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (23) A (24) B (25) B (26) A (27) C (28) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	お茶ゼミの平常授業の長文 (Advanced レベル) をしっかり学習していれば、普通に解ける問題。		

### ●本大問の特徴・概要

長文に空所があり、4つの選択肢から選ぶ問題。比較的やさしい問題なので、合格するためには6問中最低4問は正解したい。この問いでも動詞に関連する問いが6問中3問あり、動詞に精通することが慶應商学部を制する鍵である。

### ●注目すべき小問

(25)などはお茶ゼミの長文には頻繁に出てくる lead to ~(~につながる)が問われており、日ごろの学習をきちんとしていれば取れる問題。

## 【Ⅴ】

予想配点	21/200 点	時間配分の目安	7/90 分
出題内容	文法問題		
出題形式	正誤判定		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (29) B (30) A (31) A (32) A (33) B (34) C (35) A		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	後期 Advanced 英語テキストで2回正誤問題の演習、O S 英語でも後期 Work Sheet で正誤問題の演習を行う。仕上げとして冬期講習「語法完成」で正誤問題を徹底演習するので必ず受講するように。		

### ●本大問の特徴・概要

受験生が苦手とする正誤問題だが、お茶ゼミでは上のカリキュラム・テキストとの関連で記載したように、正誤問題をシステムティックに征服するので、お茶ゼミ合格者の正答率は高い。全問正解者もいた。正誤問題で最も気をつけるべきは「S・・・V」の形で、主語と動詞が離れている場合の主語と動詞の一致関係に常に気をつけよう。この大問でも主語と動詞の一致に関係する問題が2問出題されている。

### ●注目すべき小問

他大学の正誤問題と比べて、慶應商学部の正誤問題は一文が長い。(32)は3行の英文、(33)～(35)は4行の英文で、それなりの読解力がないと結局間違いを見つけることはできない。

## 【Ⅵ】

予想配点	24/200 点	時間配分の目安	6/90 分
出題内容	文法・語義問題		
出題形式	短文空所補充		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (36) A (37) A (38) B (39) A (40) A (41) B (42) B (43) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	『完熟』『でか単』の征服はもちろんのこと、OS英語在籍者は前期に行う動詞の語法 Work Sheet、Advanced 英語在籍者は夏期講習英文法完成、後期動詞の語法 Warm Up を征服すれば簡単な問題。		

### ●本大問の特徴・概要

いわゆる4択の文法問題。お茶ゼミの授業(Advanced レベル)をきちんとこなせば全問正解も難しくない問題。正解となる選択肢を並べると come across, illuminates, outweigh, from time to time, in favor of, declared, to stimulate, had not given で、これを見てもわかるとおり、動詞がらみの出題が8問中6問で、その他2問はイディオムである。

### ●注目すべき小問

(42)はお茶ゼミの合格者全員が間違った。これはこの問題が3行にわたる長いもので、geopolitical, addiction, fossil fuel, federal, innovation という難しい単語が文章中に使われているため、文章の意味自体を取り損ねたのだろう。一応文法問題という体裁はとっているが、語彙力の重要性は慶應商学部の全問題に関して言えることである。

## 【Ⅶ】

予想配点	15/200 点	時間配分の目安	7/90 分
出題内容	文法問題		
出題形式	長文空所補充 (記述)		
小問別難易度	※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す (a) B (b) B (c) B (d) C (e) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	『でか単』を覚える際に派生語にも常に注意を払ってゆくことで対処できる。		

### ●本大問の特徴・概要

legend, access, risk, hostility, simplicity の形容詞形を文脈に合わせて、長文の空所に入れる問題。この5つの形容詞形はそれぞれ、legendary, accessible, risky, hostile, simple である。この分析を読んでいる皆さんは形容詞形をすべて言えたか？ 2つ以上言えないものがあつた人は、かなりまずい状態なので、語彙力を徹底して鍛えよう。また、この英文の出典も *Harvard Business Review* であることにも注目したい。

### ●注目すべき小問

お茶ゼミの合格者でも、legendary ができていない人がかなり多かった。この大問は実際の入試では4問できれば合格なので、ある意味で他の問題ができるのなら捨ててもいい問題かもしれない。

## 【Ⅷ】

予想配点	28/200 点	時間配分の目安	7/90 分
出題内容	文法問題		
出題形式	長文空所補充（記述）		
小問別難易度	※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す (a) B (b) B (c) B (d) B (e) B (f) B (g) B		
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連	動詞の語義だけでなく、過去分詞の性質を理解することが必要。3 月期に行う「態・分詞」の理解が必須。		

### ●本大問の特徴・概要

cause, control, estimate, be, explore, throw, do を長文の空所に適当な形にして入れる問題。それほど難しい動詞もなく、基礎的な問題である。お茶ゼミ合格者は平均 5 問正解しているので、2 問落としてもよい。

### ●注目すべき小問

空所（ a ）に explore を入れることができなかった人が多かった。これを間違えると、自動的にもう一問間違ふことになり、痛い。The hypothesis that ~ must be explored. という文になるのだが、explore をジーニアス英和辞典でひくと「探検する、調査する」と出てくる。この語義で覚えているとなかなか「～という仮説は（ ）されなければならない」の空所には入れにくい。ところが *Longman Dictionary of Contemporary English* で第 1 に出てくる意味は to discuss or think about something carefully「あることを論じて、注意深く考える」。この語義だと、「～という仮説は（ ）されなければならない」にすんなり入る。

前にも述べたように日ごろから英英辞典に親しんでいると、難関大学は合格の確率が高まる。